

◆ 第27回災害ボランティア活動を、平成30年3月24日（土）九州北部豪雨災害に伴う農業ボランティアを朝倉市大庭地区にて実施しました。

筑後信用金庫は、第27回災害ボランティア活動を、平成30年3月24日（土）朝倉市大庭地区にて実施しました。今回は、開催日が年度末の業務多忙な時期と重なり、スケジュール調整のうえ、参加者2名の活動となりました。

活動内容は、最近の天候が良くなり、島らっきょうの新芽とともに成長している雑草を取りながら表面の固い土をほぐすことです。雑草取りといえば簡単ですが、今回の場所が約600坪（全体では3千坪）に作られた細い畝（うね）の間に屈み込んでの作業となったことから、腰・ふくらはぎ等に負担がかかりなかなか進みませんでした。作業は、私たちのほか石橋氏と石橋氏のお母さんの4名での作業となりましたが、成果はわずかなものでした。

活動場所の朝倉市大庭地区は、昨年11月24日（金）に福岡県内4信用金庫合同で活動した同じ場所で、その後4か月経過しました。当時泥上げ作業した水路はその後住民の協力もあってきれいな状態となり、また中学生を含む学生ボランティアが植えた島らっきょうの苗は今年の寒波の影響で生育にバラツキが出ているものの、その後順調に成長し、新芽が約60cmになっています。収穫の予定時期は、1か月程度遅れたものの、5月中旬には収穫祭が予定されています。

作業の休憩中に被災時の状況を聞くに、ビニールハウスのパイプ上部アーチが見える程度まで（別添写真）水位が上がリ、一面水面になったことを聞くとあらためて水害の怖さを感じました。また、石橋氏は、テレビや新聞でも紹介されましたように、農家応援プロジェクトを立ち上げられ、荒れた土壌でも栽培可能な島らっきょうの生産を実証し、希望する農家へ栽培法を伝えようと動いておられるところで、すでに栽培法を教えてほしいという農家が数軒あられ頑張っておられるようです。今後の復興に向けて頑張ってもらいたいと思います。

【活動風景】



① 約600坪の畑での雑草取り（その1）
隣には、木蓮や菜の花が満開



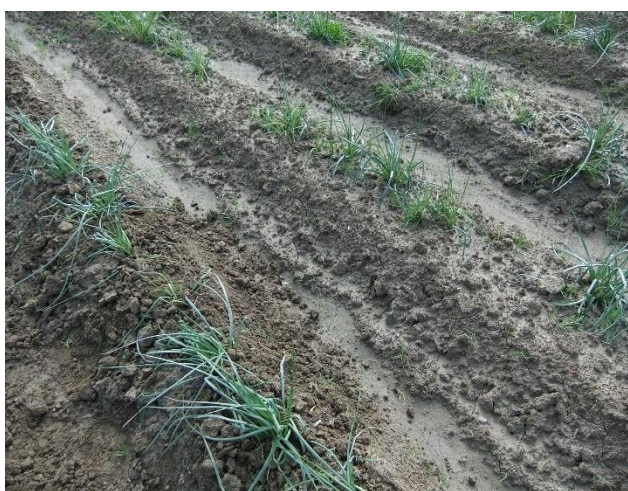
② 約600坪の畑での雑草取り（その2）
日常は、家族、親戚、ボランティア等で作業



③ 畝の間、作業中（その1）当金庫職員



④ 畝の間、作業中（その2）石橋氏とお母さん



⑤ 土壌表面が堅いものの、新芽は成長



⑥ 災害時、水位が上部横パイプぐらいまでに達していたとのこと